

# 和の古典

## 古今和歌集

花山院師繼筆 [鎌倉初期] 写

『古今和歌集』は延喜5年(905)頃、醍醐天皇の勅命で編纂された、最初の勅撰和歌集です。本書は貞應2年本の系統にある一本で、その奥書を持つ最古の伝本とされています。

重要文化財



## 七夕のさうし

書写者不明 [江戸初期] 写

天稚彦(海竜王)と人間の娘との地上・天界における恋愛譚が、色あざやかな奈良絵を伴って華麗に繰り広げられます。七夕の由来を語る浪漫ですが、物語の作品研究の素材としても好個のものです。



## 源氏物語画帖

道見法親王 他筆 [江戸初期] 写

『源氏物語』から広く知られた60の場面を選び、身分の高い公家の能書家たちの手になる本文や和歌に、美しい濃彩色の細密画を左右に配した、折帖仕立ての画帖です。



## さころも

書写者不明 [1596-1624] 写

狭衣と飛鳥井姫の恋物語を描く御伽草子です。慶長・元和頃の成立で、極彩色の挿絵28図を含みます。

## 蜂須賀家旧蔵本

蜂須賀家本の由来は、第12代徳島藩主蜂須賀重喜(1735~1801)にさかのぼります。大名家の格式を示して代々書籍蒐集が盛んに行われ、その数は6万冊に及んだと伝えられますが、今日、まとまった形で伝存するものは少ないようです。本学には和歌関連の典籍を中心に24点132冊が収蔵されています。

## 長秋詠藻

二条(藤原)為世筆 永仁4年(1296)写  
平安・鎌倉時代前期の歌人であった藤原俊成の歌集で、治承2年(1178)3月に作られました。書名の「長秋」は俊成が後白河院皇太后宮太夫だったので、皇太后の唐名「長秋宮」からとられたそうです。



## 伊勢物語

二条(藤原)為氏筆 [鎌倉初期] 写

『伊勢物語』は在原業平と思われる男性を主人公とする125の章段からなる歌物語です。奥書によれば本書は藤原定家によって書かれた本を元に写されたもので、『伊勢物語』研究に欠くことのできない資料とされています。



## 源氏物語(空蟬)

今川了俊筆 [応永17年(1410)] 写

『源氏物語』は紫式部によって書かれた、主人公・光源氏の栄華と苦惱を中心に、多くの女性達との交わりを描いた54帖からなる我が国を代表する古典作品です。本書の書写者である今川了俊は、南北朝時代の武将ですが、歌人としても広く知られた人物です。



# 西洋の古典



## ヒグデン著『ポリクロニコン』

Higden, Ranulf, "[Polychronicon]" [London], [ca.1420]  
天地創造から14世紀半ばまでの人類の歴史を年代順に叙述した歴史書で、1420年頃に書写されました。著者ヒグデンはイギリスのベネディクト会の修道僧で、本書は世界で確認されている15点のうち1点です。

## パチョーリ著『スムマ』

Pacioli, Luca "Summa de arithmetica geometria proportioni [et] proportionalita" Venice, 1499.

「スムマ」の略称で知られる『算術・幾何・比及び比例総覧』初版は、複式簿記を紹介した最古の書物といわれており、近代印刷確立前の揺籃期本(インキュナブラ)の一つに数えられます。国内で所有が確認されているのは10部ほどで、古い装訂を保持している本書は、我が国でもっとも良好な保存状態にあるとされています。



## 西洋の名著・古典から



## ホブズ著『リヴァイアサン』

Hobbes, Thomas "Leviathan, or, The matter, forme, & power of a common-wealth, ecclesiastical and civil" London, 1651.

『リヴァイアサン』は、国家の在り方について述べた政治哲学の著作です。「万人による万人の戦い」を調整するためには、絶対主義的国家=リヴァイアサン(旧約聖書に出る海の怪獣が原義)が必要であると説き、西洋思想史上の不朽の古典といわれています。本書は Head版(一刷)です。



## ダンテ著『神曲』

Dante Alighieri  
"Dante con l'esposizione di Christoforo Landino, et di Alessandro Vellutello..." In Venezia, 1564.

『神曲』は地獄篇、煉獄篇、天国篇の3部より構成される長編叙事詩です。イタリア古典文学の屈指の傑作で、多くの書物で用いられたラテン語ではなく、日常的なイタリアのトスカーナ方言で書かれたことも特徴とされています。本書はサンソヴィーノ版です。

## 〔フランス革命期文献資料〕

## ミシェル・ベルンシュタイン文庫

パリの古籍商ミシェル・ベルンシュタイン氏(1906~2003)が集めた、フランス革命期の印刷資料と手稿資料など、45,000点からなる文庫です。内容は、激動期にそれぞれの主張を訴える新聞や、ピラ、パンフレット類、革命議会議事録、手稿その他の考証資料など多岐に及び、資料の質・量ともに、フランス国立図書館のそれに次ぐコレクションとされています。



## 「人権宣言」(ブヴェロ作、手彩色版画)

"Droits de l'homme" Se vend à Paris, [between 1789 and 1792]

フランスの「人権宣言」は、各国の権利宣言のなかでも最も代表的なものとされています。この宣言は、序文と17条からなり、自由、平等、国民主権、基本的人権の尊重、所有権の確立などが定められており、近代自由主義国家の政治観を代表したものとして知られています。

## 『エジプト誌』

"Description de l'Égypte..." Paris, 1809-1822.

ナポレオンはエジプト遠征の際に調査団を引き連れ、エジプト各方面の調査を行わせました。本書は、その調査団による精密な記録をもとに刊行されました。高さ70cmにおよぶ大型本で、20巻で構成されています。左図は神殿の円柱(デンデラ)を描いたもの。本書はベルンシュタイン文庫の収蔵を契機に、後に関連文献として収められました。